

1. 目的
思春期の子どもたちが、心身の変化を正しく理解し、相手や自分自身の心と身体を大切にすることを目的に、下記のプログラムを標準として教室を実施する。

2. 内容

対 象	指導項目	指導内容
プログラム1 小学校 4～5年生向け (1校時)	1 おなかの中のいのち 2 胎児の体験 3 つながるいのち 4 いのちのおはなし	いのちの始まり 胎児の成長(妊娠週数に応じて) おなかの中を思い出してみよう おなかの中の音を聞く 胎内のイメージ(胎児体験) いのちは大切なもの 「自分」は大切な存在 赤ちゃん人形の抱っこ体験 いのちはつながっているよ 自分の前には2千人もの命がある 自分もいのちをつなぐ一員 いのちに関する絵本の読み聞かせ いのちの「時間」を大切にしよう
プログラム2 中学校 (2校時)	1 自分のからだのこと 2 男女別講義 男の子の性 女の子の性 3 いのちについて	男性と女性の違い 変化が起こるしくみ 思春期は大切な時期であること 教室移動(男女別の教室) 男の子を対象にした体の話 生徒からの質問への回答 女の子を対象にした体の話 生徒からの質問への回答 いのちがつながっている 胎児の心音を聞く 男女が親しくなる12段階 いま、どうあるべきか考えよう

標準
プログラム